

ふれあひ

発行日 ● 平成29年1月

発行者 ● JA岐阜厚生連 中濃厚生病院 広報委員会

中濃厚生病院だより

No 81



中濃厚生病院の理念

みんなの安心、みんなの信頼、みんなの希望
私たちは「安心」「信頼」「希望」のある医療をめざします。

患者さんに「安心」を

いかなるときも差別をなくし、人権とプライバシーを尊重します。
十分な説明と納得のいく医療サービスを心がけます。
快適な環境をととのえ、こころを尽くしてお世話します。

地域社会に「信頼」を

さまざまな機関との連携をすすめ、開かれた病院をめざします。
救急・予防・リハビリテーションまで地域に必要な医療を提供します。
常に新しい知識と技術の集積につとめ、高度医療に取り組みます。

あしたに「希望」を

医療と福祉の実践をととして生きがいにみちた生活を支援します。
利用者と職員の希望をはぐくむ職場づくりをすすめます。
和を大切にし一丸となって地域医療の発展に努めます。

特集:小児に対する専門的リハビリ
テーションが開始されました



JA岐阜厚生連

中濃厚生病院

年頭のご挨拶



岐阜県厚生農業協同組合連合会

経営管理委員会会長 堀 尾 茂 之

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。平成29年の年頭にあたり、皆様に一言ご挨拶申し上げます。

社会保障と税の一体改革に基づく、消費税率10%への引き上げによる増収分は年金、医療、介護など社会保障の施策に充当される予定でしたが、平成31年10月まで延期が決定され、社会保障施策への影響は避けられない見通しとなりました。一方、経済財政運営の指針「経済財政運営と改革の基本方針」においては、平成32年度の国・地方の基礎的財政収支を黒字化する目標は堅持されることとなったため、今後も制度改正等による財源の捻出が必要であり、今まで以上に踏み込んだ社会保障費の歳出見直しが予測されております。

また、国は今後の少子高齢化社会に向けた施策として「日本再興戦略2015」等において「健康寿命の延伸する社会」の構築を目指しており、地域の行政においても高齢者の介護予防の推進、現役世代からの健康づくり対策の推進等について積極的な取組みを推進しています。

岐阜県においては、今後の人口推計をもとに平成37年度の医療需要を推計し、医療機能別の必要病床数などを示した地域医療構想を昨年7月に策定しました。県内全ての二次医療圏において現状の病床数が必要病床数を上回っていることから、今後は病床再編・病院統合などによる医療資源の集約化や病床規模の適正化が進むものと予測されます。

こうした状況において本会は、地域医療構想の方向性を踏まえ、各地域において自院の医療機能を明確にするとともに、公的医療機関として地域に必要な医療を継続的かつ安定的に提供できるよう取り組んでまいります。また、入院から在宅への円滑な移行と医療・介護・福祉サービスの継続的な提供が可能となるよう、地域の行政機関や医療・介護施設等との連携を更に強化し、地域医療の確保と充実に努めてまいります。また、本年以降は特に「健康寿命の延伸」に向けて健康推進事業の支援やがん検診の普及啓発活動に貢献していく所存であります。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして幸多き年となりますよう心より祈念申し上げますとともに、引き続き本会事業にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



院長 鷹 津 久 登

あけましておめでとうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は当院の事業に格別のご支援、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

当院では昨年「緩和ケアセンター」が新設されました。進行したがん患者さんの肉体的・精神的な苦痛緩和を目的とする病床です。

昨年は4月から12月末の間に78人の患者さんが入院されています。私もこの中のお二人に関与させていただきましたが、尊厳に包まれた安らかな死を迎えられる様子を見せていただき感銘を受けました。日進月歩の医療技術の進歩も重要ですが、このような患者さんに寄り添った医療分野でも努力を重ねてゆきたいと考えています。

一方、ポジトロン撮影装置(PET)や電子カルテの導入など新たな診療機器を導入してまいりました。PETは主に悪性腫瘍の存在と広がり、陽電子を用いて画像化する装置で、関市民の皆様からのご要望に応じて導入した次第です。様々ながん、特にリンパ腺がんや肺がんなどの診療に多く用いられています。遅ればせながら、カルテが完全電子化となりました。利点としては、全てデジタル化されたので、有名な医師の悪筆でカルテの字が読めないなどということがなくなり、心電図やCT画像をいつでも病院内のどこにいても閲覧できるようになったということです。一方、どうしても入力の手間が増えましたので、外来診療の際に患者さんの方を見ずに画面ばかり見ているとお叱りを受けたり、一定時間に診察できる患者数が減ったりということがあります。いずれも時代が必要とするものですので、必要な改善をしながら軌道に乗せてゆくことが重要と思います。

これからは、地域医療の時代であるといえます。当院でも玄関左に地域医療包括ケアセンターを設置し、病院内外のお職種間の連携強化に努めています。今後も「地域完結型の医療」が整うように努力してゆく所存でありますので、皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

小児に対する専門的リハビリテーションが開始されました。



当院では、平成28年3月より小児リハビリテーションを開設しました。小児リハビリテーションとは、障がいを持ったお子様によりよい成長を促していく為の支援のひとつです。

近年、障がいを持ったお子様が増え、また障がいが多様化していることから、全国的に支援をする場が少ない傾向にあります。特に、中濃地域ではお子様のリハビリテーションをする場所が岐阜県の圏域別で比較しても少ない状況にあります。当院は、地域に根ざした医療を目指して元々成人のリハビリテーションのみを実施していました。しかし、この現状を受けて今回開設するまでに至りました。

当院では、生まれつき障がいを持った肢体不自由のお子様をはじめ、月齢に沿った成長の遅れや、自閉症（現在ではアスペルガー障がいなど総称して自閉症スペクトラムと呼びます）・ADHD（注意欠陥多動性障害）など、社会適応の難しいお子様などといった、幅広い分野を対象としています。

現在、かかわりをもたせていただいているスタッフは、小児科医師を中心として、リハビリテーションスタッフは理学療法士2名、作業療法士2名、言語療法士2名の合計6名で実施しています。臨床心理士さんも1名関わってくださっています。小児リハビリテーション専用の部屋を設け、お一人ずつ個別でリハビリテーションを提供する形をとっています。





お一人お一人お子様には特徴があり、沢山の長所があります。その長所を活かすことで少しでも苦手な所を補え、楽しく成長出来るように一生懸命支援していますので、悩みを持った親御さんがいましたら当院まで相談に来て頂けると嬉しいです。まだまだ試行錯誤しながら行っていますが、少しでも中濃地区のお子様やそのご家族の助けになれば幸いと思っております。

ここからは、当院の特徴のひとつでもあります臨床心理士のかかわりについてご紹介させていただきます。

小児科に発達相談で来られた場合、臨床心理士は必要に応じて検査を行います。相談内容に合わせて、どのような検査を実施するか吟味をして選択します。客観的に評価をすることや困っていることは何かを探ることが主な目的ですが、同時に、その子の抱える'大変さ・やり



にくさ・困難さ'を周りの人に知らせるのも目的の一つです。大別すると検査は、結果が数量的に表れるもの（ウェックスラー式知能検査や新版K式など）と抽象的・質的な表現を解釈するもの（描画法：グッドイナフ人物画・バウムテストなど／投映法：ロールシャッハテストなど）があります。結果がIQ・DQといった数字で表れる検査は、「同年代と比較すると〇〇%の位置にいますよ」「だいたい〇歳の発達です」と言えるので客観的な情報を提供できます。

一方、描画などは見る側の感情を喚起させるので、周りの人の心を動かしめます。お子さんのつらさや大変さが伝わる場合がありますので、客観的とは言えないかもしれませんが、その後の対処や支援の際にとっても有効だと思います。たとえば、バウムテストで枯れ木を描いたりした場合や、人物画にて

不器用であることを悩んでいるお子さんが手を描かなかった場合など、周囲の大人が「これはしんどかっただろうな」とつらさや困り感を理解する機会になったケースがありました。

検査はお子さんに取り組んでもらう場合もあれば、保護者の方に聞き取りをする場合もあります。両方行う場合もあります。できるだけお子さんやご家族の状況や希望に沿うように心がけています。



検査の後は、結果について臨床心理士からも説明をし、対処法や支援法を提案するようにしています。その後は、必要性や希望に応じて保護者の方やお子さんとカウンセリングをしています。カウンセリングの方法もいろいろありますが、その中の一つに箱庭療法があります。これは、砂の入った箱の中にミニチュア玩具を置き、または砂自体を使って自由に何かを表現したり遊んだりする方法です。

言葉にできない不安や葛藤、恐怖、怒りを安全に表現できます。また、意識していることだけでなく、気が付いていなかった自分の心身の状態や動きが感じられます。このような方法で自分の心の中の対話・対決へつながり、自己理解と人格的な変容が促されるとされています。実際に、箱庭を用いると、テーマとなっていることが繰り返し表現され、変化していきます。臨床心理士は傍らで寄り添いながら、状態に合わせて＜今まで〇〇だったものが△△になったのかな＞などと声をかけます。そうすることで気が付かなかったことに目が向き、それを感じたり、時に考えたりするきっかけになるようです。

臨床心理士は、当院では今年度





初めて配置していただいたため、何をするのか分からないと思っておられる方も多いと思います。私たち臨床心理士も未だ模索している途中です。多職種の方と連携しながら学ばせていただきたいと思いますので、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

上げます。

箱庭は地下1階相談室（旧病後病児保育室）にあります。興味のある方はためしにお使いいただくことも可能です。医療スタッフは患者さんの心身に深く触れる仕事なので、自分のナルシズム（自己愛）の傷つきを癒す機会になればと思います。



最後に、当院の小児に対する専門的リハビリテーションは、スタッフみんなが積極的なかわりをもちたいと考えております。この場で恐縮ですが、多くの方にご理解を頂いて開設できたことを深謝いたします。スタッフの技術など、まだまだ未熟な面もありますが、お子様とともに今後の成長を温かく見守っていただけると幸いです。

外来診療担当表

平成28年12月以降

番	診療科目	診	月	火	水	木	金
⑬番受付	内科	消化器	1 中村	尾辻	本田	戸田	中村
			2 河内	勝村	宮地	本田	勝村
			3 華井	伊藤(貴)	河内	尾辻	向井
			4 向井/伊藤(貴)(消・初・隔週)	戸田/河内(消・初・隔週)	尾辻/勝村(消・初・隔週)	中村(初・消)	本田/宮地(初・消・隔週)
		循環器	5 鷹津(循・初)	佐野(循・初)	岩田/山中(循・初・隔週)	森下(循・初)	香田(循・初)
			6 森下	田中	森下	鷹津	岩田(友)
			7 山中(一)	香田	佐野	香田	佐野
		腎臓 神経	8 西脇	-	宮崎(9:30～)	田中(循)	村田(隔週・9:30～)
			9 森野	-	森野	森野	湯本(循環器)
		呼吸器	10 大須賀(呼・初)	神谷(呼・初)	安田(呼・初)	浅井(呼・初)	玉木(呼・初)
			11 玉木	安田	神谷	大須賀	安田
			12 半田	浅井	半田	立岩	神谷
			13 岩田(啓)	立岩	水野(要予約)	水野(要予約)	大須賀
		内分泌・糖尿病	14 鈴木	島田	兼村	鈴木	鈴木
		血液	15 兼村	安藤(英)(呼吸器)	兼村	-	-
		総合内科	16 勝村	華井	鷹津	安田	島田
			午後6 -	-	-	-	-
			午後13 -	-	浅井	-	-
		要 予 約	13 (喘息)	玉木(喘息)	-	-	-
			8 (禁煙)	-	-	-	-
			9 (神経)	森野(1:30～)	-	-	-
			8 (心療)	-	-	-	-
			15 (血液)	兼村(2:00～5:00)	-	兼村(2:00～5:00)	鶴見(2:00～5:00)
			14 (糖尿病)	島田(2:00～4:00)(再診)	-	-	-
			13 (胸部・心臓血管外科)	島袋(2:00～4:30)	-	-	-
⑯番受付	小児科		午前1 坪内	森本	坪内	坪内	坪内(第1.3.5)/森本(第2.4)
			2 内田	内田	森本	内田	森本(第1.3.5)/内田(第2.4)
		(ワクチン)	2 内田(2:00～)	-	-	-	-
		(内分泌)	1 -	坪内(2:30～)	-	坪内(2:00～)	坪内(2:00～)
		(アレルギー)予約制	1 -	-	山岸(2:00～)	-	-
		(1ヶ月検診)予約制	-	-	-	1ヶ月検診(2:30～)森本	-
		療育相談	-	内田	-	-	-
		発達相談	-	-	-	-	森本
	耳鼻科		午前1 横山(黒木10:30～)	中下	横山	中下	横山(黒木10:30～)
			2 滝脇	黒木	滝脇	黒木	中下
		(学童・嚥下 アレルギー・嗅覚)	午後1 嚥下外来(3:00～)	-	-	学童外来 アレルギー・嗅覚外来 (3:00～4:30)	-
⑮番受付	外科		午前1 井上(総)	仲田	武藤	井上(総)	仲田
			2 武藤	吉田	薮崎	勝木	吉田
			3 武田	勝木	-	武田	薮崎
	皮膚科	(乳腺)	午後1 -	-	-	吉田(乳腺)(1:30～3:00)	-
			午前1 山田	山田	山田	山田	山田
⑭番受付	整形外科	(初診) (処置・初診) (ギブス外来)	午前1 安藤(喜)(リウマチ・人工関節)	波頭(脊椎)	波頭(脊椎)	小川	安藤(喜)(リウマチ・人工関節)
			2 小川	山中	金子	田口	金子
			3 高橋	植田	高橋	山内	山中(真)
			4 金子	安藤(喜)(リウマチ・人工関節)	小川	山中(真)	高橋
			5 田口	田口	山内	植田	山内
⑩	泌尿器科		午後1 -	-	2:00～3:30	-	-
			午前1 斉藤	斉藤	宇野	斉藤	宇野
⑫番受付	産婦人科		午後2 宇野(初診・10時～)	宇野(初診・10時～)	斉藤(初診・10時～)	宇野(初診・10時～)	斉藤(初診・10時～)
			1 太田	山際	太田	山際	太田
			午前2 伊藤(直)	-	-	伊藤(直)	伊藤(直)
			3 友影	長谷	竹中	長谷	長谷
		骨盤底再建外来(予約制)	午後1 -	-	-	1ヶ月健診(2:00～)	-
⑪	眼科		午後1 -	-	-	-	(14:00～15:30)
			午前1 小森	小森	小森	小森	小森
⑰	リハビリテーション科	(心臓リハビリ)15:00～16:00	午後2 -	-	-	代務医師	-
			午前1 植田	森野	安藤(喜)	井上(繁)	波頭
			午後 森下	香田	山中(一)	佐野	岩田(友)

ボランティア募集

中濃厚生病院では現在は20名程のボランティアの方によって玄関案内、病棟手伝い、院内図書管理、各種院内教室(ちぎり絵・絵てがみ)と幅広く活動して頂いています。
地域に根ざしたよりよい病院づくりを目指し、週1回程度、活動して頂ける方を募集しています。
尚、活動時間についてはご相談に応じて調整できますので、気軽にお問い合わせください。
【問い合わせ先】中濃厚生病院 医療相談室 松田 TEL (0575) 22-2211

休診日/土曜・日曜・祝日

JA岐阜厚生連 中濃厚生病院
〒501-3802 関市若草通5丁目1番地
TEL (0575) 22-2211
URL: <http://www.chuno.gfkosei.or.jp/>